

◎総務部長（竹内正隆君）

「白山市公共施設等総合管理計画」における公共施設等の更新費用の見通しと、平準化及び財源の手当てについて、またその対策についてお答えいたします。

この公共施設等総合管理計画における施設の更新費用等につきましては、国から示された方法により簡便な方法で機械的に算出したものであり、本市におけるそれぞれの施設の個別具体の老朽化の度合いを反映したものではないということをまず御理解いただきたいと思えます。

その中で国からは、公共施設等総合管理計画を基本方針といたしまして、個別の施設、それぞれの施設についての点検、修繕、更新などの具体的な対応方針を定めた個別施設計画というものを再来年度、2020年度までに策定するよう要請されているところであります。

将来必要となる更新費用につきましては、この個別施設計画を策定する中で把握したいというふうに考えております。

現在、各施設の個別施設計画の策定準備も進めているところであります。

この計画におきましては、それぞれの施設の老朽化の度合いや将来のニーズ、利便性などを総合的に勘案した上で、施設の長寿命化、あるいは更新時における施設の規模等の適正化など、そういったことに取り組むこととしております。

将来の更新に必要となる経費につきましては多額になることが想定されております。こうしたことから、更新等に当たりましては施設の必要度、優先度など十分勘案しながら、選択と集中という考え方も取り入れながら、経費の削減、あるいは平準化に努めていきたいというふうに考えております。

以上です。